

東京学芸大学
キャンパスライフ・ガイドライン[応用編]
— ハラスメントの具体例集 —



思い当たることはありませんか？

このパンフレットでは、ハラスメントになる可能性の高い行為や発言について具体例を紹介します。ハラスメントとは様々な「嫌がらせ」や「いじめ」のことで、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益や脅威を与える言動を指します。同じ言動でも、その場の状況や蓄積された人間関係によって意味が変わってくることはありますが、受け取る側の意に反した不快な言動はハラスメントの判断対象になります。これから紹介する具体例に、何か思い当たることはありませんか？

ハラスメントは、授業やゼミ、サークル、ソーシャル・ネットワーク（LINEやfacebook）など、様々な学校生活の場面で起こります。もしハラスメントを受けていると思ったり、ハラスメントと思われる行為を目撃したときは、一人で抱え込まず、なるべく早く相談員や先輩、友人、上司、同僚などに相談してください。本学ではすべての学生と教職員の人権が尊重され、安全で快適なキャンパスライフが送れるように、キャンパスライフ委員会を設け相談員をおいています。大学の取り組みや相談体制については、本学で発行している『相談できます』『キャンパスライフ・ガイドライン概要』などの冊子や、本学ホームページを参照してください。

【セクシュアル・ハラスメント】

セクシュアル・ハラスメントとは、ことばや視覚的な手段及び行動等により、相手の意に反する性的な性質の言動等を行うことであり、それに伴い相手に学業及び職務を行う上で利益（単位認定や昇進など）または不利益を与えたり、就学、就労、教育及び研究のための環境を悪化させたりする場合があります。異性間のみならず同性間でも対象となります。

大学では教職員から学生に対してだけでなく、教職員同士や学生同士、あるいは学生から教職員に対して行われることもありえます。また、小・中・高の教育現場でも起こりえます（そうした場合をスクールハラスメントと呼ぶこともあります）。

- 力関係を利用して性的関係をもとうとする（卒業後なども含む）。
- 指導と称して二人きりになりたがる。
- 学業に関係のない私的メールを送る。電話をかける。
- 研究室や授業で性的表現を過度に用いる。性的冗談や下品で卑猥な発言をする。
また、そのさい相手の反応をうかがう。
- 研究室などにわいせつな写真やポスターを貼る。
- 肩・手・ひざ・髪などに触る。抱きつく。身体接触をする。
- 容姿・服装・身体的特徴・年齢などについて話題にする。からかう。
（「かわいい」「かっこいい」「スタイルがいい」などポジティブに評価することも含まれる。）
- 「恋人はいるの?」「モテるでしょ」など、個人的で性的な質問をする。
- メールやインターネットで性的な噂を立てる。嫌がらせをする。
- 生理や更年期について笑いものにしたり差別したりする。
- 身体を上から下までじろじろ見る。目で追う。
- 食事やデートにしつこく誘う。交際をせまる。
- 自宅までの送迎をむやみにしたがる。
- 飲み会で隣に座らせる。お酌をさせる。一緒に歌うことを強要する。
- 酔いつぶして性的関係をもとうとする。
- 勝手に愛称をつける。「ちゃん」づけする。姓ではなく下の名で呼ぶ。
- 冗談や仕草で同性愛や性自認（或いは性同一性障害）について笑いものにしたり差別したりする。

【アカデミック・ハラスメント】

アカデミック・ハラスメントとは、教育・研究の場における力関係を不当に利用して、相手の活動の妨害、不利益な取り扱い、人格的な誹謗・中傷や嫌がらせ、暴力等、相手の意欲および教育・研究の環境を著しく損なう結果となる人権侵害をいいます。

- 学生・院生に対して適切な指導をしない。
- 学生・院生が指導を求めても、長期間にわたって放置して指導を放棄する。
- 学習や研究に必要な情報を意図的に伝えない。
- 設備・研究資金・資料・発表の機会などを不当に制限し、研究活動を阻害する。
- 常識的に不可能な課題の達成を強要する。
- 本人が希望しない研究テーマを押しつける。
- 成績・評価を盾にした発言をする。
- 論文の提出条件を十分満たしているにもかかわらず、提出を許さない。

- 個人的な感情から、奨学金や研究員などの申請に必要な推薦書を書かない。
- 恣意的な成績評価を行う。
- 挨拶をしない。あからさまに無視する。
- 人前や一人の時に怒鳴る。にらむ。威嚇する。威圧的な説教をする。
- 「おい」「お前」など、人格を認めないような呼び方をする。
- 「ばか」「まぬけ」など、人格を否定するような発言をする。
- 他人を誹謗中傷する発言などによって周囲に恐怖心や不快感を与える。
- 個人的な情報にもとづく不適切な言及を行う。
- 研究室の他のメンバーから孤立させる。
- 本人がいない場で学生の悪口を言いふらす。
- 私用や雑用を押しつけるなどして、自分の個人秘書のように使う。
- 研究室内の雑用を特定の個人に集中してやらせる。
- 学会や合宿、飲み会への参加を強要したり、正当な理由なく参加を認めない。
- 指導の名目で、深夜や早朝などの非常識な時間に呼び出したり電話をかける。
- 相手によってあからさまに違う対応をする。
- 宗教・人種・国籍・出身地・階級・性的指向・性自認等によって、一方的に相手を判断したり決めつけたりする。
- 就職が内定した後に、内定先とのコンタクトを認めない。
- 学生・院生の研究成果を本人の同意なしに自分の論文に使う。

【パワー・ハラスメント】

パワー・ハラスメントとは、職場やサークルなどの組織やソーシャル・ネットワークにおいて、力関係を利用した理不尽な発言や行為によって生じる人権侵害です。これは、職位が同じレベルにある人同士の間でも起こりうるほか、部下が上司に対してハラスメント状態を作り出すこともありえます。また、いわゆる「職場いじめ」も含まれています。サークルなど学生が作っている組織でも似たようなことが起こる可能性があります。

- 私用や雑用を押しつけるなどして、自分の個人秘書のように使う。
- 私的なことに過度に立ち入る。
- 立場を利用した関係を作る。
- 懇親会や歓送迎会の参加を強要する。
- 必要もないのに個人的なことを聞き出そうとする。
- 大きな声で叱責したり、椅子を蹴るなどする。
- 挨拶をしない。あからさまに無視する。
- 人前や一人の時に怒鳴る。にらむ。威嚇する。威圧的な説教をする。
- 「おい」「お前」など、人格を認めないような呼び方をする。
- 「ばか」「まぬけ」など、人格を否定するような発言をする。
- 他人を誹謗中傷する発言などによって、周囲に恐怖心や不快感を与える。
- 職階や属性を引き合いに、見下したり非難したりする。
- 職種によってあからさまに違う対応をする。
- 職務上必要な情報を意図的に伝えない。
- 能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事を、合理性なく命じる。
- たたく・蹴るなど、身体的攻撃をする。
- 宗教・人種・国籍・出身地・階級・性的指向・性自認等によって、一方的に相手を判断したり決めつけたりする。

【ジェンダー・ハラスメント】

ジェンダー・ハラスメントとは、男性・女性に関する固定的な「らしさ」のイメージや性別役割分担意識に基づく差別的な言動をいいます。

- 「男の子、女の子」「おじさん、おばさん」「ボク」「坊や、お嬢さん」など、人格を認めないような呼び方をする。
- 「男のくせに」「女のくせに」「女は楽でいい」「男らしくない」などと言う。
- 性別によって指導のしかたを変えたり、お茶汲みや掃除などを言いつける。

【マタニティ・ハラスメント】

マタニティ・ハラスメントとは、妊娠や出産を理由とした退職強要や、それを理由にした職場における精神的・身体的な嫌がらせを指します。

- 職場や教室で妊娠や中絶を性的なからかいや噂の対象とする。
- 妊娠をしにくい雰囲気や状況を作る。
- 妊娠を理由に退職への圧力をかける。
- 妊娠を「迷惑行為」とみなす。
- 産休や育休の取得を直接・間接的に阻む。

【アルコール・ハラスメント】

アルコール・ハラスメントとは、飲酒の強要やアルコールの影響によって相手の望まない言動をすることであり、行為者が意図したか否かにかかわらず、それによって相手に何らかの不利または不快感を与えることをいいます。アルコール・ハラスメントは、地位の上下関係や所属意識などを利用して行われたり、その他の様々な交流の中で生じたりします。大学においては、教職員と学生間あるいは教職員間でのアルコール・ハラスメントだけではなく、サークル活動において学生同士でも起こる場合があります。

- 飲み会への参加を強要する。
- 飲み会に参加しなければならない雰囲気をつくる。
- 酒を飲まないことをからかう。
- 酒を飲むのが当然であるかのような雰囲気をつくる。
- 酔ってしつこくからむ。
- 酔って暴言を吐く。暴力をふるう。
- 本人の体質や意向を無視して飲酒を勧める。
- イッキ飲みや一発芸を強要する。
- 酔いつぶすことを意図したり、それを放置したりする。



キャンパスライフ委員会
問い合わせ先：学生課
☎042-329-7863 FAX042-329-7191
メールアドレス gcampus@u-gakugei.ac.jp
大学HP <https://www.u-gakugei.ac.jp/~clife/>

付記：パンフレットの作成にあたっては、本学の男女共同参画支援室の協力を得ました。

また、厚生労働省や他大学の冊子・ホームページを参考にしました。